



令和3年1月1日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel : 03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）における 2021年度新規プロジェクトの決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、社会技術研究開発センター（RISTEX）が推進する戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）において、2021年度の新規プロジェクトを決定しました（別紙1）。

社会技術研究開発は、現存する社会問題の解決や将来起こり得る社会問題への対処などを通して、新たな社会的・公共的価値の創出を目指す事業です。社会問題に関するさまざまな関与者と研究者が協働するためのネットワークを構築し、競争的環境下で自然科学と人文・社会科学の知識を活用した研究開発を推進します。

今回は、2021年度に創設した「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」について提案を募集した結果、大学や国立研究開発法人など多様な提案者から応募がありました。

募集締め切り後、プログラム総括およびプログラムアドバイザーが書類選考と面接選考による事前評価を実施し、採択課題を決定しました。

プログラムの応募数と採択数は以下の通りです。

「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」

（プログラム総括 浦 光博 追手門学院大学 教授）

募集期間：2021年5月20日(木)～7月20日(火)正午

応募数：78件

採択数：研究開発プロジェクト 7件

事業やプログラムの詳細は下記ウェブページをご参照ください。

ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/ristex/>

＜添付資料＞

別紙1：「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」2021年度新規採択プロジェクト一覧

別紙2：「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」2021年度応募数および採択数

別紙3：「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」評価者一覧

別紙4：「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」2021年度提案募集概要

参考：戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）の実施状況（2021年度）

新規採択プロジェクト②

地域とつくる「どこでもドア」型ハイブリッド・ケアネットワーク

研究代表者：近藤 尚己（京都大学 大学院医学研究科 教授）

概要	研究開発への参画・協力機関
<p>長引くコロナ禍が子どもや若者、女性へ及ぼす影響のメカニズムは十分明らかになつておらず、支援ニーズの増加と支援者間の情報共有や連携の困難により相談支援の現場負荷が高まっている。支援対象者の特徴の把握や支援プラン策定は、支援者の経験とスキルに大部分が委ねられており、経験の浅い支援者などへの支援と地域ぐるみの支え合いを可能にする環境整備が急務となっている。</p> <p>本プロジェクトでは、①3万人の縦断インターネット調査データを活用して、コロナ禍が子どもや若者、女性に及ぼす社会的孤立・孤独や健康・生活への影響を分析する。②分析で得た知見を踏まえ、これまでに開発してきた支援者の支援データシステムの「子ども・若者・女性版」をつくる。③別途開発してきた「住民主体の共生型地域づくり普及支援ガイド」および「地域住民を含む顔が見える社会資源マップ」などのツールをアップデートして、同システムに接続する。このシステムには対象者のタイプ（ペルソナ像）情報や支援記録の分析に基づく優れた支援者のナレッジを盛り込む。支援対象者のタイプとタイプ別の効果的な支援プランを提示し、これを現場とオンラインの両面（ハイブリッド）のネットワーク上で運用する。地域の人々の誰もが支援の入口（ドア）となり、どこから入ってもケアの輪に包摂され、互いに支え・学び合い、豊かなケアが継続する「どこでもドア型」のケアネットワークを構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・京都大学・慶應義塾大学・東京工業大学・大阪医科大学・畿央大学・大和大学・大阪行岡医療大学・日本ファンドレイジング協会・草の根ささえあいプロジェクト・起業支援ネット・KYOTO SCOPE・名古屋市子ども・若者総合相談センター・北日本コンピューターサービス株式会社など